

## 春光まちづくり推進協議会 会議録 令和4年度 第2回

会議概要	
日時	令和4年7月25日(月曜日) 午後6時00分から午後7時10分まで
場所	旭川市北部住民センター 2階 大集会室
出席者	委員（15名，正副会長以外は50音順） 安齋会長，上山副会長，石塚委員，市川委員，上野委員，加納委員，工藤委員， 小林委員，清水委員，高橋委員，高村委員，林（綾）委員，林（知）委員，山形 委員，両瀬委員  （欠席者）なし  事務局 地域まちづくり課 今課長，木下主査，浅沼 北部住民センター 高橋
会議の公開・ 非公開	公開
傍聴者の数	0名
会議資料	・ 次第 ・ 資料1 令和4年度事業の方向性について ・ 資料2 「愛あい（子どもの居場所）」 紹介資料 ・ 資料3 スノーコミュニケーション事業 紹介資料

※「春光まちづくり推進協議会」について，本文では「まち協」と略する。

## 議事の内容

### 1 開会

開会し、委員の出席状況報告と会議資料の確認が行われた。

### 2 検討事項

#### (1) 本年度の事業について

【会長】

令和4年度において、優先的に支援すべき事業の方向性を検討するにあたり、事務局から資料の説明をお願いします。

【事務局】

資料1に基づき「あいさつ運動事業」、「春光魅力探訪会」、「子供の居場所づくり事業」及び「スノーコミュニケーション事業」について説明。また、資料2では、他地区の子供の居場所づくりの参考事例の紹介。資料3では、「スノーコミュニケーション事業」の参考資料の紹介があった。

【会長】

事務局から説明された4つの事業のほかに、何かご提案はあるか。

【委員】

(特になし)

【会長】

新たなご提案がないことから、説明された事業について委員のご意見を伺いたい。

【委員】

「子どもの居場所づくり」については、春光中央町内会独自で、夏休み期間に実施しているので、それを参考にして事業展開したほうが良い。

【委員】

「魅力探訪会」は、今後どうするのか。4つの事業全てへの対応は難しいので、的を絞った方が良い。

【会長】

「魅力探訪会」は、数年間活動していませんが、あいさつ運動は継続して実施しており、子ども居場所づくりやスノーコミュニケーション事業についても検討していく必要がある。

副会長のご意見を伺いたい。

【副会長】

本年度事業をどうするのか。毎回、全体的に検討ではなく、事業ごとにグループを作って、具体的に事業を支援する方法等を検討していただき、その趣旨に則って、協議会としてまとめる方が良いと考える。

【会長】

事業ごとに、検討委員会等を作って、検討を行うことでよろしいか。

春光魅力探訪会については、過去に探訪図が作成されているので、今年度は凍結し、3事業の委員会を作ると、各事業に委員5名ずつにすると15人全員が割り振られることとなる。

【委員】

了解。

【会長】

それでは、3つの委員会の委員の割振りについては、各委員の希望を取り入れながら決めていきたい。

(この後、各委員の割り振りを決定。)

【会長】

これから、この会場で3つの委員会ごとに委員の席を移動し集まってもらい、各委員長及び副委員長が決定されたら、報告していただきたい。

(その後、委員会ごとのグループ討議を行った。)

【会長】

それでは、3つの委員会の委員長等を発表していただく。

【委員】

あいさつ運動については、安齋会長が委員長、市川委員が副委員長に決定。

【委員】

スノーコミュニケーション事業については、上山副会長が委員長、小林委員が副委員長に決定。

【委員】

子どもの居場所づくり事業については、次回のまち協開催までに決定し、報告したい。

【事務局】

本日発足した委員会の委員については、まち協委員以外の協力者・知識のある方などがおりましたら、委員として入っていただき事業を推進していただきたいと思う。

また、まち協会議開催前でも各委員会の委員長から会議開催の要請があれば、北部住民センターまでご連絡頂きたい。対応する。

## (2) その他

---

【会長】

次回のまち協の開催日程については、いかがか。

【事務局】

コロナウイルス感染の第7波の影響が考えられるので、9月以降になると思うが、今後、各委員と連絡を取りながら日程調整を行い、決定する。

## 3 閉会